

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.40 JR 津田沼駅南口特定土地区画整理事業			担当課	市街地整備課			予算費目名	款 08	項 03	目 01
事業概要 及び目的	JR 津田沼駅南口地区の都市的未利用地（約 35ha）について、計画的な市街化を図るべく、組合施行の土地区画整理事業が実施されていることから、本市の表玄関に相応しいまちづくりを展開するため、組合に対して、支援等を行い土地区画整理事業の促進を図る。			成果目標	成果指標	定住人口	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					計画値	2,300 人（平成 26 年度）	予算額（単位：円）	295,100,000	521,500,000	446,925,000	358,355,000
							決算額（単位：円）	98,764,250	431,500,000	378,070,000	
							従事職員数	8	8	9	
事業の 位置づけ	章 3	安全で安心な暮らしができるまち		★左記施策（号）との結び付き 上位計画の位置づけによる、二大都市拠点の一翼を担い、商業、業務の集積を図ると共に、本市の表玄関として相応しい良好な住宅地を創出し、市街地整備が推進される。	従事延べ日数	962	1,027	1,144			
	節 2	効果的な土地利用の推進			民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし					
	項 1	効果的な土地利用の推進				相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等					
	号 1	市街地整備の推進				形態は？：					

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 10 日記入					平成 22 年 5 月 27 日記入					平成 22 年 4 月 20 日記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び 事業費補助			本市の表玄関として相 応しい、まちづくりを展 開するため、平成 21 年 度以降も組合に対し、継 続して指導、支援を実施 し、土地区画整理事業の 促進を図る。	・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び事 業費補助			本市の表玄関として相 応しい、まちづく りを展開するため、 平成 22 年度以降も 組合に対し、継続し て指導、支援を実施 し、土地区画整理事 業の促進を図る。	・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び事 業費補助			本市の表玄関として相 応しい、まちづく りを展開するため、 平成 23 年度以降も 組合に対し、継続し て指導、支援を実施 し、土地区画整理事 業の促進を図る。		
継続している 事項	・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び 事業費補助				・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び事 業費補助				・ JR 津田沼駅南口土地区画整理組合への指導・監督及び事 業費補助					
未着手事項	・				・				・					
改善案				成果指標 実績値 78 人 達成率 3.4%	移転補償交渉を含めた土地区画整理事業における様々な事 項について、円滑に進捗が図れるよう、継続して組合への指 導・監督を実施する。				成果指標 実績値 78 人 達成率 3.4%	土地区画整理事業における様々な事項について、円滑に進捗 が図れるよう、継続して組合への指導・監督を実施する。	成果指標 実績値 125 人 達成率 5.4%			

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。	平成 21 年 7 月 23 日協議実施					平成 22 年 6 月 1 日協議実施					平成 23 年 4 月 22 日協議実施									
今後の方向性	成果の方向性	拡充				○	成果の方向性	拡充					○	成果の方向性	拡充									
		現状維持						現状維持								現状維持								
		縮小						縮小							縮小									
		休廃止						休廃止							休廃止									
			休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充			休廃止	縮小	現状維持	拡充							
		コストの方向性							コストの方向性							コストの方向性								
	★上記を選択した根拠 本市の表玄関として相応しい、まちづくりを展開するため、組合に対し、継続して指導、支援を実施し、土地区画整理事業のさらなる促進を図る必要がある。																							
方向性を実現するため実施すること（改革案）	仮換地指定がなされ、土地の使用収益が開始される時点において、本事業費を精査し、本市の負担軽減を図るため、資金計画を見直すと共に、関連するまちづくり交付金事業の都市再生整備計画の変更を行う。																							
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。特に改革案を示していない。																							
	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。資金計画等の見直しを行える段階まで事業が進捗せず、改革案の実施にまでは至っていない。																							
	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。																							